

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年09月15日

計画の名称	小林市における『循環のみち下水道』の持続と進化（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	小林市												
計画の目標	<div>・下水道の使命、機能およびサービスの目標水準を適正なマネジメントにより「持続」させることを目指す。</div> <div>・下水道が有する汚水の収集・処理・雨水の排除といった機能を平常時はもとより、大規模災害時においても強くしなやかに発揮し、持続的に提供することを目指す。</div>												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	330	A	330	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末	R04末	R06末
1	施設地震対策実施率を0%（H30）から100%（R06）に増加させる。			
	重要な下水処理施設における地震対策実施率	0%	100%	100%
	耐震性能が確保されている施設数／重要な下水処理施設数			
2	下水道による浸水対策実施率を0%（H30）から100%（R06）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策実施率	0%	33%	100%
	浸水対策実施済み路線内箇所数（箇所）／浸水対策を実施すべき路線内箇所数（箇所）			
3	下水道における浸水対策が必要な区域の整備に向け、調査・測量の達成率を0%（R6）から100%（R6）に増加させる。			
	下水道における基本設計策定のための調査・測量の達成率	0%	0%	100%
	調査・測量されている区域の面積/調査・測量すべき区域の面積			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小林市	直接	小林市	終末処 理場	改築	小林浄化センター耐震対 策	処理場	小林市	■					60		策定済	
	A07-002	地震																		
		下水道	一般	小林市	直接	小林市	管渠（ 雨水）	新設	仲町地区雨水対策事業	雨水対策 L=171m	小林市		■	■	■	■	250		－	
	A07-003	下水道	一般	小林市	直接	小林市	管渠（ 雨水）	新設	小林地区内水浸水リスク マネジメント推進	計画策定	小林市						■	20		未策定
											小計							330		
											合計							330		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
小林市にて、事後評価を実施	事業終了後
	公表の方法
	小林市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	小林浄化センターの耐震対策として、躯体部分と継手部分の補強を実施し耐震化が図られている。また、新竹排水区と西ノ原排水区の内水浸水シミュレーションを実施し、内水浸水想定区域図を作成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
仲町地区の浸水対策について、令和7年度以降も引続き工事を実施する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	目標値を達成。
	最 終 実績値	100%	
2			
	最 終 目標値	100%	目標値を達成。
	最 終 実績値	100%	
3			
	最 終 目標値	100%	目標値を達成。
	最 終 実績値	100%	